



心不全の増悪因子について考える

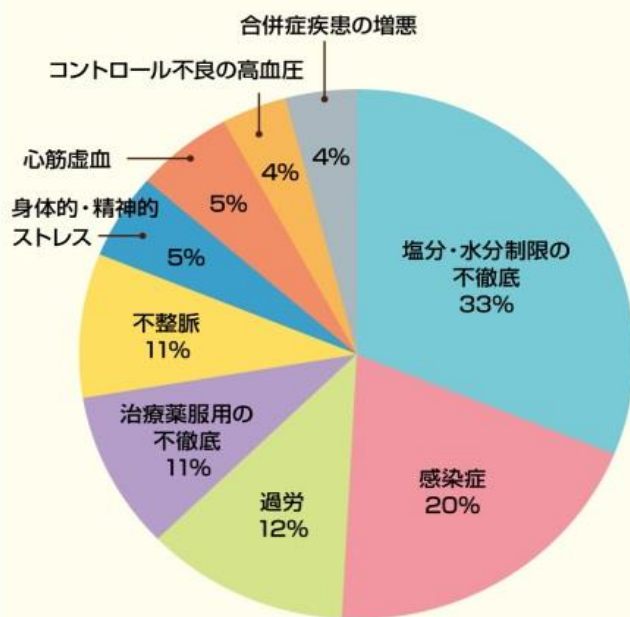
心不全は心臓から十分な血液が拍出できず、全身が必要とする循環を保持できない状態のことを言います。疾患名ではありません。心不全には心筋梗塞や心筋症、弁膜症などの原因となる疾患があるのです。また、心不全の増悪は原因疾患の悪化だけが原因ではなく、感染症や心筋虚血、不整脈などの医学的因子や塩分・水分制限や治療薬服用の不徹底、仕事や家事の過剰な活動など生活上の問題も増悪因子となります。

私たちは患者さんの心不全が増悪した因子が何かを考えて、患者さんの疾患に対する認識や日常生活状況を意図的に情報収集し、アセスメントを行い、患者さんに合った生活指導を行う必要があります。



心不全が悪化したのはなぜ？

心不全増悪による再入院の誘因



循環器ナースング 2014/10 Vol.4 No.10 p12より引用

再入院の誘因は、塩分・水分制限の不徹底や過労、内服の怠薬など**生活上の問題が多くを占めている**ことから、**生活指導**がいかに**大切**であるかがわかると思います。

<心臓病教室のご案内>

月1回、労災病院多目的ホールにて行っています。医療者や他の患者さんの話を直接聞くことができ、参考になるとご好評頂いております。無料でどなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。日時や講義内容等は、当院の総務課までお問い合わせください。

<心不全に関する相談>

「心不全がある場合、どんなことに注意したらいいの」「心不全のこと詳しく知りたい」など、心不全に関する疑問や悩みをご相談ください。お待ちしております。

連絡先：毎週月曜日（8：30～16：00）

0823-72-7171（代）

担当：近下